

# 欧米市場に、ニッチでハイエンドな除雪機を輸出展開 (フジコーポレーション 株式会社)

## 会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:新潟県燕市小池285
- 代表者:代表取締役 藤井大介
- 資本金:1,200万円
- 売上高:約30億円
- 従業員数:137名(2012年1月現在)
- URL:<http://www.e-fujii.co.jp>

## ①事業概要



内閣府 経済産業省  
ものづくり日本大賞

### <農業機械、除雪機製造・販売>

慶応元年、農業機械メーカーとして創業。

その後、農業機械が木製から金属製になるに従い、プレス加工、鋼材販売等に事業を多角化。昭和25年、藤井農機製造株式会社(現フジコーポレーション株式会社)を設立。多くの賞を受賞する等、技術の高い農機メーカーとして定評がある。平成17年海外技術者研修協会より長年の海外技術者の研修実施協力に対し表彰。平成19年フィンランドのクリスマス財団よりサンタクロース公認除雪機に認定。平成20年新潟県「世界にチャレンジするモノづくり企業」に選定。平成21年経済産業省「元気なモノ作り中小企業300社」、「雇用創出企業1400社」に選出。平成24年には、「ものづくり日本大賞優秀賞」を受賞。創業以来のチャレンジ精神で、技術の向上に取り組まれている。

## ②海外展開概要



### <北米・欧州等への輸出>

昭和50年代半ばから農機、除雪機等をEUに輸出。

平成初めには、事業ドメインを除雪機・乗用草刈機・高所作業機という海外でも売れるグローバル商品だけに絞る。輸出市場も欧米のニッチ&ハイエンド市場を対象とし、「フジブランド」の構築という方針を立て、メーカー主導の能動的な輸出に切り替えた。

間接貿易から直接貿易への変更、海外の展示会・商談会への積極的な参加、商品の現地実演会、トップセールス、グローバル商品に絞った開発などを通じ、多少コストは高くても海外で戦える「尖った商品」の海外展開をおこなっている。

## ③取組の重点(活用した支援策を含む)

昭和50年半ば頃から「能動的海外展開」に海外戦略を転換し、グローバル商品に事業領域を集中したことが成功の一因。商品を徹底的にグローバル仕様にし、コスト高になっても各国の規制をクリアする商品を作る。各国別に対応した商品開発をするよりも効率的になり、世界中の市場で戦える商品となった。

また、現地生産ではなく、国内での生産および輸出にこだわる。体力の乏しい中小企業が陥りがちな経営資源の不足、ヒト・モノ・カネの分散を避けることに注力。結果的に、輸出は経営効率を高める効果もあり、技術の流出を防ぐことにもつながっている。

最後に、トップが「撤退をする勇気」を持つことも重要。

## ④今後の事業展開について

今後も欧米市場を中心に海外展開をしていく。また、「内なる国際化」も重視。「内勤者こそ海外研修等をさせることで海外を意識した社内の体質が出来上がってくる」として、社内の国際人材育成にも熱心に取り組む。また海外へ留学した学生向けに秋入社制度の制度化や外国人留学生の採用をおこない、新入社員の国際化も進めている。本年からは、(独)中小企業整備機構の中小企業海外展開支援体制整備事業を受け、北欧や東欧等の新興国への市場調査や市場開拓も積極的におこなっている。また(独)日本貿易振興機構(JETRO)の輸出有望案件発掘支援事業として、プレス部品の輸出の指導も受けている。



サンタ村にて



ロシアにて



トルコにて

### グローバル商品群



除雪機



乗用草刈機



高所作業機

(平成24年10月現在)

データ出所: 関東経済産業局